

事業主体名		沖縄市						
令和3年度（繰越）沖縄振興特定事業推進費（市町村）検証シート								
事業名	「おきなわの歴史・文化体験」周遊促進事業				担当部課名	経済文化部 観光スポーツ振興課		
					認定市町村名			
広域性要件または先導性要件の該当有無	☒	広域性要件	現年事業または繰越事業	☐	現年事業	事業実施（予定）年度	令和1～4年度	
	☐	先導性要件		☒	繰越事業			
事業内容	・新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済状況や感染症対策を踏まえたうえで、「おきなわの歴史・文化体験」の周遊ルートにかかる観光誘客を実施する。 ・様々な媒体を活用して広域的な情報発信を実施する。 ・多言語対応も鑑みて需要に応じた広域周遊案内ガイドの育成を実施する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（R5年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		R1年度	R1年度（繰越）	R3年度	R3年度（繰越）		
		当初予算額	18,585	0	18,585	0		
		増減額	0	0	0	0		
		予算現額	18,585	0	18,585	0		
		前年度から繰越	0	18,585	0	18,585		
		翌年度へ繰越	18,585	0	18,585	0		
		計	0	18,585	0	18,585		
		執行済額	0	12,924	0	18,379		
		うち補助金充当額	0	10,339	0	14,703		
		不用額	-	4,529	-	165		
		執行率（％）（B/A）	0%	69.5%	0%	98.9%		
		予算の状況の説明	・R1年度事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が困難となったことから、R2年度に繰越したものの、緊急事態宣言発令による渡航制限等により、当初予定していた事業が実施できず、約70%の執行率に留まった。 ・R3年度事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、まん延防止等重点措置が発令されたため、予定していたモニターツアーの実施が困難となり、R4年度に繰越している。R4年度においては、予定通り適正に事業を実施することができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	周遊パンフレットの配付数	目 標	（ 200 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	200					
	謎解きパンフレットの配付数	目 標	（ 100 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	100					
達成状況説明	・周遊パンフレット及び謎解きパンフレットについては、沖縄市観光物産振興協会やうるま市観光物産協会等で配付するなど、それぞれ目標としていた数を配付することができた。 ・周遊パンフレットについては、多言語化やインターネット上でも掲載しているため、より多くの方に訴求することができた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	成果目標（指標）			基準値（ R1年度 ）	目標値（ R5年度 ）	R6年度	R7年度	R8年度
	沖縄市「おきなわの歴史・文化体験」関連施設のうち、うるま市「おきなわの歴史・文化体験」関連施設を訪れた来訪客数割合	目 標			（ 32.5% ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		27.5%	36.3%			
	成果目標（指標）			基準値（ R1年度 ）	目標値（ R5年度 ）	R6年度	R7年度	R8年度
	うるま市「おきなわの歴史・文化体験」関連施設のうち、沖縄市「おきなわの歴史・文化体験」関連施設を訪れた来訪客数割合	目 標			（ 73.1% ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		68.1%	74.4%			
進捗状況説明	活動目標として定めている周遊パンフレットや謎解きパンフレットの配付、及び周遊パンフレットの多言語での情報発信により、沖縄市・うるま市の歴史・文化を体験できる施設の周知だけでなく、宿泊施設や飲食店の情報へと導くQRコードも掲載していることから、1つの施設だけでなく、周遊コースとしてPRすることができた。							

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析 ・沖縄市とうるま市それぞれの周遊状況を施設ごとにみると、施設ごとに多く周遊している施設もある一方で、ほとんど周遊がみられない施設もある。 ・アンケートでは、周遊施設のなかで「こどもの国」の認知度が最も高く、「あまわりパーク」がそれに続く形となっており、うるま市の関連施設を訪れた人のうち、沖縄市の関連施設を訪れた人の割合が高いのは、こどもの国の影響があったと思われる。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） ・ほとんど周遊がみられない施設に関しては特に、様々な媒体でPRするとともに、アクセス情報や周辺の飲食店等の情報も合わせて、情報発信する必要がある。 ・沖縄市を訪れる人のうち、うるま市を訪れる人の割合を高めるために、既に認知度が高いあまわりパークを軸とした周遊PRが必要である。
	今後の取り組み方針 ・引き続き沖縄市観光物産振興協会やうるま市観光物産協会、観光施設等で周遊パンフレットや謎解きパンフレットを配付するとともに、イベント会場や物産展等の多くの人が集まる場所においても積極的にPRし、周遊促進に努める。 ・あまわりパークで様々なイベントが開催されるのに合わせて、沖縄市の関連施設でもパンフレットを配布するなど、認知度が高い施設を起点とした周遊促進に努める。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	補助対象事業費	補助対象外経費
		18,379	18,379	0
沖縄市 18,379千円 委託料 18,379千円 「おきなわの歴史・文化体験」周遊促進事業 観光誘客業務コンソーシアム 18,379千円				
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算に当たっては、3者見積により設計書を作成しており、執行後の不用額は、事業費の1%程度であり適正な規模であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと認識している。	